

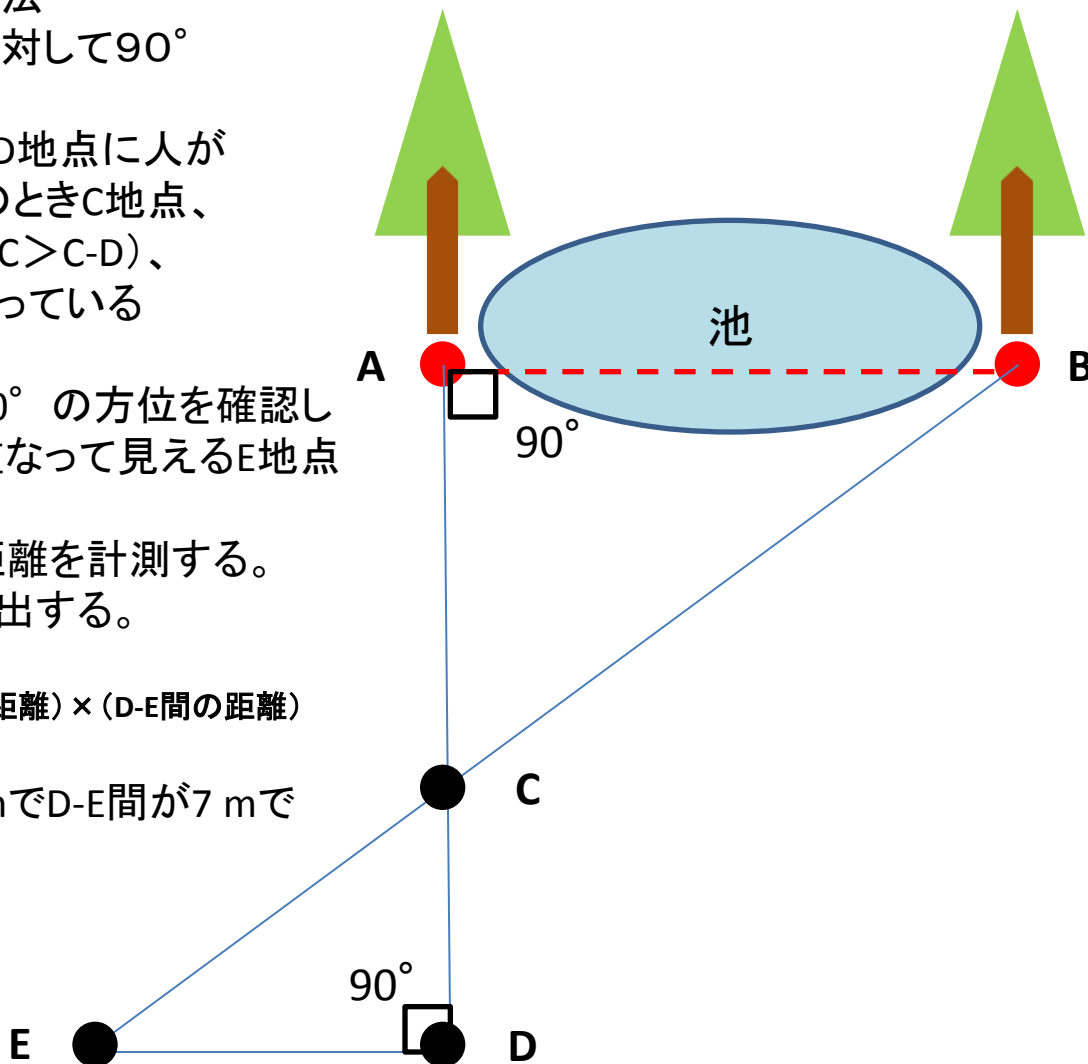
直接計測できない2点間の距離の計測方法

A地点とB地点の距離を測定する方法

- 1) A地点に立ちコンパスでB地点に対して 90° の方位を確認する。
- 2) その方位の延長線上のC地点、D地点に人が立つか棒などの目印を立てる。このときC地点、D地点の取り方は任意でよいが(A-C > C-D)、A-C間とC-D間が歩測で整数倍になっているほうが計算しやすい。
- 3) D地点に立ちA地点に対して -90° の方位を確認しその延長線上でC地点とB地点が重なって見えるE地点を見つける。
- 4) 歩測でA-C間、C-D間、D-E間の距離を計測する。
- 5) 以下の公式でA-B間の距離を算出する。

$$(\text{A-B間の距離}) = (\text{A-C間の距離}) \div (\text{C-D間の距離}) \times (\text{D-E間の距離})$$

たとえばA-C間が10 m、C-D間が5 mでD-E間が7 mであった場合、A-B間は14 mとなる。



高さの計測方法

木の高さ(A-B間) = B-D間の距離 + 身長

- 1) スカウトハンドブックの裏表紙にある分度器の中央上部に糸を張り付け、糸の先におもりをつける(5円玉など)。
- 2) ハンドブックの背表紙を上にして、本の隅に目をあて、目的物(木)の頂点を見上げる。
- 3) つるした糸が45°を指す角度で見上げた時、目的物の頂点が本から見た視線の延長線上に来るように立つ位置を移動する。その位置がD点となる。

